



●ごみ減量に取り組むメリット

ごみの減量化により、処理コストの削減を図ることができます。
積極的に取り組むことで、事業者のイメージアップにも繋がります。

●3Rに取り組みましょう

3Rとは…

環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための取組の、
頭文字 **R** をとって作られたごみの減量・資源化のキーワードです。

- ① **R**educe : リデュース → **ごみを減らすこと**
- ② **R**euse : リユース → **繰り返し使うこと**
- ③ **R**ecycle : リサイクル → **資源として再利用すること**

**3Rは順番が
大事です**

① Reduce : リデュース ごみを減らしましょう

- 過剰包装、梱包を控え、簡易包装などを推進する。
- 紙の節約やペーパーレス化（ITの活用）を進める。
- 業務内容を見直し、過剰な仕入れや返品によるロスを減らす。
- 使い捨て用品の使用を控え、詰め替え用品や、繰り返し使える食器（湯呑、割り箸など）を積極的に使用する。
- 飲食店では、小盛メニューの提供など、食品ロスの削減に努める。

② Reuse : リユース 繰り返し使いましょう

- ミスコピー紙などは、内部資料やメモ用紙などに再使用する。
- 封筒、ファイルなどは繰り返し使用する。
- 使用済みの封筒を加工し、社内連絡便や書類回覧に使用する。
- 不要な事務用品、事務机などは他の部署などで再使用する。
- トナーカートリッジなど詰め替え可能なものはメーカー回収などで再使用する。
- リターナブルびんやデポジット制の商品を積極的に使用する。
- 流通用梱包材や仕入れに使用する容器などは、繰り返し使用できるものを採用する。

③ Recycle : リサイクル 資源にしましょう

- コピー用紙、新聞、段ボールなど再生可能な紙類は再資源化する。
- 事務用品など物品を購入する際は、再生品など環境に配慮したものを選ぶ。
- 機密書類などをシュレッダー処理した紙も資源化する。
- 缶、びん、PETボトルなどは分別してリサイクルする。
- 家電製品や食品廃棄物などを、各リサイクル法に従って処理する。